

第9回 泉中学校統合準備委員会 会議録

日時	令和2年9月29日（火）19時00分～19時57分
場所	泉市民館 集会室
出席者	委員（29名） 山内敏久委員、清田康一委員、西川伯明委員、久保山彰之委員、渡辺勝人委員、藤村巳好委員、浅井恵一委員、松本秀志委員、坂腰実利委員、神谷具佑委員、川合三奈委員、北野祐樹委員、藤村正人委員、小野和良委員、彦坂辰夫委員、渡邊康良委員、本多昌仁委員、高木美代子委員、槇田尚弘委員、小久保通弘委員、 太田裕樹委員、鈴木孝幸委員、福井恒芳委員、小久保浩明委員、渥美謙一委員、山本忠史委員、岩田真委員、古越俊光委員、森下しのぶ委員 オブザーバー（1名） 赤羽根中学校：清田将之主幹教諭 事務局（10名） 鈴木教育長、増山教育部長、伊藤教育総務課長、渡邊学校教育課長、鈴木地域課長、宮本赤羽根市民センター所長、吉口学校教育課指導主事、中村教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主査、藤井教育総務課主任
欠席者	榊原修平委員、井本秀昭委員、渡邊真希委員、大羽企画課長
傍聴者	なし
	《資料確認》
事務局	配布資料の確認 ・次第 ・統合準備委員会委員名簿 ・資料1 第2回総務部会 ・資料2 第5回通学・安全部会 ・参考資料 これまでの経緯
	《開会》
事務局	ただいまから第9回泉中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 なお、会議は公開としておりますので、ご了承ください。 はじめに、鈴木欽也教育長からご挨拶を申し上げます。
教育長	こんばんは。 田原市の教育長の鈴木欽也と申します。今年の4月から新しく教育長を拝命いたしました。よろしくお願いします。 本日は、第9回の統合準備委員会を開催しましたところ、委員の皆様には大変ご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 コロナ禍のため、本年度になってから実質初めての準備委員会になるかと思っています。大変重要な会議であると認識しております。どうかよろしくお願いいたします。

	さて、泉中学校と赤羽根中学校の統合まで、いよいよあと半年となっておりましました。泉中学校にとっては、学校を閉じるという大変に重い事業であります。生徒や保護者はもちろんのこと、同窓生や地域の方にとっても大変に大きな出来事であると思います。あと半年という時間の中で、皆さんの心に残るような、よい閉じ方ができることを期待しております。そして、4月からは新生赤羽根中学校として、すばらしいスタートが切れることを願っております。これは、現在の赤羽根中学校の側の皆さんも同じ思いを持ってみえることと思います。 本日の資料に、これまでの経過が出ておりますが、平成29年に組織を立ち上げてから準備委員会と各部会を何度も開催し、協議を重ねてきていただきました。皆様方のご尽力で、ゴール及びリスタートの姿がかなり見える状態になってきていると捉えております。コロナ禍のため、当初の予定どおりにできなかったり、計画を変更せざるを得なかったりすることも多かったと思いますが、現在の状況下の中で最善の方策を導き出していただけたらと考えます。 本日の統合準備委員会が皆様の願いの実現に向けて、さらに前進できるような会議となることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。 本日はよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 今年度最初の会議となる前回の会議につきましては、先ほど教育長からお話がありましたとおり、感染症予防対策から書面会議とさせていただきましたので、皆さま方に集まっていただくのは、実質今回が初めてとなります。 つきましては、前回の書面会議において、決定されました2つの事項について確認をさせていただきます。 まず1つ目ですが、統合準備委員会の副委員長の名指ににつきましては、赤羽根校区コミュニティ協議会会長の彦坂辰夫委員に願うということで決定をいたしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 次に、部会長の任命についてですが、まず、部会について、初めての方もおりますので、簡単にご説明をさせていただきます。 泉中学校の統合準備委員会では、専門部会として「総務部会」、「PTA部会」、「学校運営部会」、「通学・安全部会」の4つの部会を設けております。 「総務部会」では、歴史・伝統の保存や閉校記念式典などに関すること。 「PTA部会」では、PTAの組織に関すること。 「学校運営部会」では、教育課程、学校行事、事前交流会、部活動、服装・持ち物、校則などに関すること。 「通学・安全部会」においては、スクールバス等の通学の手段の運行経路などの検討等に関することをそれぞれ検討していくものとなっております。 各部会で検討していただき、部会で出た案を本日のような統合準備委員会で決定していくという流れとなっております。

	では、各部会長の任命に戻りますが、総務部会長は、泉中学校長の小久保浩明委員。PTA部会長は、赤羽根中学校校長の古越俊光委員。学校運営部会長は、赤羽根中学校校長の古越委員。通学・安全部会長は、江比間自治会長の清田康一委員にお願いをするということで決定いたしております。各部会長の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。 なお、統合準備委員会の皆様にお集まりいただきますのは、今年度初めてです。議題に入ります前に、私のほうから少しお時間をいただきまして、既に決定している事項、それからこれまでの経緯について、少し説明をさせていただきます。 参考資料として、「これまでの経緯について」という資料をお配りしていますので、そちらをご覧くださいながら説明を聞いていただきたいと思います。 まず、統合準備委員会につきましては、平成29年7月の第1回開催から3年が経過しており、今年度が統合準備委員会として最終年度となります。 先ほど説明しました4つの部会で、統合に伴う必要事項の検討協議を重ねまして、統合準備委員会で検討案の決定や、部会から協議中の内容を報告していただいております。 では、これまでに決定した主な事項を申し上げます。 「総務部会」ですが、赤羽根中学校同窓会への入会について、現在の泉中学校の1年生からとすることを決定しております。 また、閉校記念式典の開催に伴う検討事項につきましては、このあと協議事項の中で、総務部会長より提案をいただきます。 次に「PTA部会」では、PTAの役員及び理事の人数を赤羽根中学校区から11人、泉中学校区から7人、さらに会長は別に1人の計19人で構成すること。会長、副会長を4つの小学校で順番に担当すること。また、会則やPTA事業など、ほとんどの協議事項が決定をされております。 続いて、「学校運営部会」からは主に3点でございます。 1点目は、部活動についてです。赤羽根中学校の既存の部活動に、男子バスケットボール部、女子ソフトテニス部、文化園芸系の部活動を新設いたします。ただし、バスケットボール部につきましては、統合時の3年生のみ所属し、令和3年の夏の大会まで活動をして終了となります。 2点目は、服装についてです。赤羽根中学校の制服、体操服を基本とし、統合初年度の新1年生から服装を同じにするのが望ましいですが、統合から3年間は両校の制服が混在することを認める。 3点目は、修学旅行の実施時期です。例年、赤羽根中学校では、5月上旬としていたものを2学期に変更し11月を予定とする。 以上の3点が決まっております。 最後に、「通学・安全部会」ですが、登下校時のスクールバスについて、大型バス1台、中型バス1台の2台とします。地区割につきましては、大型バスに、
--	---

	江比間・伊川津・馬伏地区の生徒。中型バスに、宇津江・夕陽が浜・石神・村松・八王子地区の生徒が乗ること及びその運行経路について決定しており、残りの検討事項について、先日の部会において協議を行いましたので、この後協議事項の中で通学・安全部会長より提案をいただきます。 以上、これまでの経緯及び既に決定している事項など、ご説明させていただきました。 それでは、議事のほうに入らせていただきます。 ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づきまして、山内委員長にお願いをいたします。 どうぞよろしくお願いいたします。
委員長	皆さん、改めましてこんばんは。 大変お忙しい中、このような時間にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 先ほど、教育長さんからもお話しがありましたように、泉中学校もあと200日を切りました。正門の前にカウントダウンの表示がしてありますので、皆さん見ていただければありがたいかなと思います。そのバックに描いてある絵は、卒業生と在校生の美術部の女の子が描いてくれたものです。 今、この組織とは別に、閉校に伴います実行委員会というのを立ち上げまして、コミュニティがバックアップしながら委員会を開いております。その中で、先ほど教育長さんの話の中にもありましたように、心に残る閉校式にしたいという思いがかなり伝わってきますが、このコロナ禍の中でこういったものができるんだろうと。個人的には、餅投げをやったり、いろいろなバザーをやったりしたいのですが、やや落ち着いてきているように思いますが、まだまだ先が見えないような状態です。たまたま田原市は、8月16日以降は感染者が出ておりませんが、どうなることかわかりません。十分に注意をしながらやっていきたいと思います。 それでは私のほうで会議の進行をさせていただきますので、円滑な議事進行に皆様のご協力をお願いいたします。 今回は、総務部会と通学・安全部会において検討された事項につきましての協議を行ってまいります。 それでは議題（１）各部会からの提案事項についてということで、最初に総務部会からの提案事項について、総務部会長さんからの説明をお願いしたいと思います。
総務部会長	よろしくお願いします。 総務部会長を務めます泉中学校長の小久保でございます。 総務部会からの説明としましては、前回の令和元年10月に行なわれました準備委員会で決定したこと、それから、それ以降の内容について、進行状況と本日は閉校式典にかかわることの提案をさせていただきたいと思っております。

	昨年の10月に決まったことは、先ほど事務局から述べました同窓会にすることが決定いたしました。そしてそのときに、閉校式典を土曜開催にしたいということをお願いし、今回日時のほうを決定させていただきたいと思います。 そのほかにつきましては、記念誌、記念品等につきまして昨年10月に決定しましたので、その内容についても少し提案をしたいと思っています。 文化財につきましては、教育総務課と文化財課、泉中学校と赤羽根中学校の職員によって振り分けをし、この3月に向けて、それから新年度に向けて、移動管理ができるように現在進行中であります。 それから、閉校記念式典につきましては、このあと教頭から詳細を説明させていただきますけれども、先ほど委員長が申し上げましたように、現在のコロナ禍でなかなか難しいですけれども、主催する学校側としましては、できる方法を考えて、できる中で工夫して行いたいと思っていますので、ご理解のほうをお願いしたいと思います。 それ以外につきましては、4月になってからの出発式につきましては、赤羽根中学校のほうで今、考えていただいていますので、この次の準備委員会、1月、2月になるか分かりませんが、そこで提案をさせていただきたいと思いますので、お願いします。 それでは式典に関しまして、教頭より説明をさせていただきます。
委員	失礼します。泉中学校教頭の渥美といいますよろしくお願いします。 それでは、式典に関しまして、本日協議事項として2点、協議をお願いしたいと思います。 まず1点目は、閉校式の開催日についてです。先ほど、校長のほうからありましたように、3月13日土曜日、13時30分から実施をしたいと考えております。その理由は、閉校式典は、誰のためのものであるかといったら、これは同窓生のためのものですので、同窓生が参加しやすくするために、土曜日開催で、受験の日程等学校の行事等から調整をして、3月13日の土曜日をお願いしたいというように考えております。 2点目につきましては、式典の内容とコロナウイルス感染症対策についてです。 資料1の1ページ目をご覧ください。2（1）対策の基本方針についてですけれども、表にあるように基本的な方針を考えてみました。 参加者につきましては、マスク着用、アルコール消毒、検温する場所を設けて、当日の体温、氏名、連絡先も記入をしてもらいます。それから、式典に参加しない来校者も出てくるかと思っています。記念品をもらうだけとか、施設を見るだけとか、そういった来校者については、式典参加者と同様に、検温、記名、連絡先の記入、こういったものをしていただく。それで何か起きたときにたどれるように対策をしたいと考えています。 次に、運営関係者についてですけれども、運営関係者も先ほど言った参加者

と同様の対策と、それから、人と近い距離で対面する受付や、式典の中でしゃべる役割のある人ですとか、そういった人につきましては、マスクにプラスしてフェイスシールドの着用という対応をしたいと考えております。

次に式場についてですけれども、3月半ばということで、まだ少し寒い時期ではありますので、窓を全開にしてというのは厳しいかもしれませんが、窓は可能な限り開けて、サーキュレーターを使い中の空気を上手に換気できるように、式場をつくっていきたいと考えております。

2ページ目をご覧ください。

次に、中止の判断です。

今月のはじめに行った総務部会で、部会員の皆さんからいろいろご意見をいただいておりますので、部会の際の提案と内容が変わってきております。総務部会においては、段階的な対応を取るということで提案をして、それについて皆さんからいろいろご意見を伺ったのですけれども、やるかやらないかをはっきりしたほうが分かりやすいということ、教育委員会とも相談をしまして、そのような形で、本日提案をさせていただきます。

中止の判断ですけれども、「令和3年3月に入ってから、泉校区で感染者が出た場合、式典及びその前後のイベントを中止する」というような基準を一つ設けたいというように思っております。これについては、事務局から後ほど補足があります。

次に（2）式典会場についてです。体育館ですけれども、立ち見を含めて最大700人収容できますが、このような状況ですので、1人当たり100センチ×100センチの距離を確保して、そうすると座席数が400席弱になりますので、そのように数を減らし、距離を取って対応したいと考えております。

それから、体育館の座席数が減りますので、第2会場についてということで、市のほうで遠隔授業システムという、パソコンとパソコンをつないで、双方向で映像と音声のやり取りをするシステムがございますので、中学校内のどこか大きい教室、もしくは小学校の体育館といった別の場所をお借りして、第2会場を設置したいというように考えております。

その他ですけれども、機材をそろえることができれば、一方的に視聴するだけになりますけれども、体育館の外にパブリックビューイングのスペースを設置できるといいかなと考えて、機材がどこで借りられるとか、そんなことを探している状態であります。

次に、（3）式典参加者についてですけれども、当初は700人案で考えておりました。ざっくりと来賓100人、主催100人、一般500人と考えておりましたけれども、先ほど申し上げたように、体育館の座席数が減りますので、その表にあるように、主催、来賓、一般、ほぼ半減させていきたいというように思います。

役職等の内訳とその人数につきましては、これは確定ではございませんので、

	また今から詰めていきたいというように考えております。 ここまでで補足がありましたら事務局のほうからお願いします。
事務局	それでは、資料の2ページの、先ほどの渥美教頭先生からも説明がありました点について、補足をさせていただきます。 まず、先に行いました部会の中におきまして、式典参加者の人数というところで曖昧な基準のままやってはいけないというご指摘等もいただきました。 式典の参加者の予定人数を決めるに当たりましては、今月、9月11日に国と県が示しました、催物の開催制限の緩和についての通知を受けまして、その判断基準を基に、田原市におきましても9月23日に、田原市新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が改められております。それによりますと、イベント開催時の収容基準と主な感染防止対策については、国、県に準じたものですので、本市独自の基準はございませんが、収容率の要件として、感染リスクの少ないイベント・式典等については100%以内。ただ、その前提として、マスクの着用や大声を出さない、出させないということを徹底するということがございます。それから、人数の上限の判断としましては、収容人数が1万人以下の施設は、5,000人までと示されております。この閉校式典の会場となります泉中学校の体育館につきましては、災害時の避難所の指定になっておりませんので、実質収容人数というものは示されておりますが、先ほど教頭先生が申されましたとおり、学校で算出をしていただいた人数が資料のとおり700人が最大で、いすを置いた状態で座れるという状況が分かっております。収容率でいけば100%以内で開催が可能になる訳でございますが、さらに学校と検討させていただいた結果、感染防止対策を徹底した上での開催として実施をしていくには、一人一人の座席の間隔を空ける対策も必要であると判断させていただき、約400人という人数を設定したいということでございます。 それから、中止の判断でございますが、令和3年3月に入ってからというものにつきましては、感染が確認されますと、そこから2週間という期間がございます。開催日が3月13日ということで、およそ2週間で感染の防止の抑制が図られるという観点からこの3月に入ってからというように決めさせていただいております。 緊急事態宣言が愛知県下に発令された場合につきましては、またこれは2月、1月であろうとも、そういったところで中止という見解になる可能性もございますので、ご承知おきいただきたいと思います。 それから泉校区で感染者が出た場合という判断につきましては、仮に田原市内の一番東側、一番西側で感染者が出た場合でもという意見がございました。ただ、そこにつきましては、参加者が同窓生、それから、泉校区を中心に開催をしていただくといったところから、泉校区での感染者といった基準とさせていただいたということです。どうぞご理解をお願いいたします。 事務局からは以上です。

委員	ありがとうございました。 それでは、(4)の内容について進めさせていただきます。 3月13日の内容につきまして、大きく「オープニング」、「式典」、「式典後」の3つの内容で考えております。オープニングにつきましては、こちらは受付と並行して行うものでありますので、参加者がその間、自由に出入りできるような内容で考えております。現時点では、同窓生や生徒による映像の作品をその時間に流す予定で考えております。 次に式典についてです。 今回は、式典の内容は伊良湖岬中学校の式典の内容に準ずるという形でお話しがしてあったと思います。式典の流れや内容については、それに準じているのですけれども、8番と9番の太字で示してある2点については、泉中学校独自に入れさせていただいております。 まず、8番の「思い出交流」につきましては、年代別の同窓生の代表者に登壇していただいて、お一人ずつ思い出話をしていただき、会場のほうからそれに対する意見があれば披露するといったものであります。 9番の「校旗返納」につきまして、これは田原市内ではこれまでやったことがありません。ニュースで、どこかの県の閉校式典でやっているのを目にして、いい感じだったので、ぜひ取り入れたいと思い、ここに入れました。式典の内容そのものが、ほとんど音や声の音声による内容がほとんどであります。ひとつつここで、校長から教育長へ校旗を返納するという視覚に訴えるような、目に見えて閉校するんだなというものがあると、とても印象的に伝わるというか、これがひとつ象徴的な場面になるのではないかと考えております。 式典後におきましては、体育館から会場を校舎内の各施設に広げまして、恩師代表による授業、それから生徒による企画、施設開放、同窓生の屋台、これは屋台といっても、泉在住もしくは泉出身の本職の方の屋台を考えております。それから最後の統合準備委員会。こういったものを式典後に考えております。 4ページに、当日のタイムテーブルが載っておりますので、どのように流れていくかということのご参考にいただければと思います。 今後の総務部会の検討事項としましては、やはり体育館に入れる方が限られてきますので、外で立ち見になる人が増えるかなと思われます。そういった人たちへの対応をどのようにしていくかということを同窓会の実行委員会のアイデアをいただきながら検討していきたいと考えております。 また、このような新型コロナウイルス感染症が心配されている時分に、どのようなタイミングで告知をしていこうかなというのも検討中でありまして、こちらのほうも同窓会の実行委員のほうとも相談しながら進めていきたいと考えております。 以上、ご審議をよろしくお願いします。
委員長	ありがとうございました。

	ただいま総務部会長等から説明がありました。皆さん、ご質問、ご意見がございますでしょうか。 ないようですので、お諮りします。 総務部会での案にご異議ございませんか。
	(異議なし)
委員長	ご異議ないようですので、総務部会での案を進めてください。 次に、通学・安全部会からの提案について、通学・安全部会長さんに説明をお願いしたいと思います。
通学・安全部会長	通学・安全部会長の江比間自治会長の清田です。よろしくお願いします。 通学・安全部会より報告させていただきます。 7月28日に通学・安全部会を開催し、スクールバスの運行について、別紙の資料2を基に協議しました。 今回、バス停の場所、駐輪場の整備について、部会からの状況報告と提案をさせていただきます。 1点目は、スクールバスの台数です。江比間地区、伊川津地区、馬伏地区の生徒については60人乗りのバス1台。宇津江地区、夕陽が浜地区、石神地区、村松地区、八王子地区の生徒については、45人乗りのバス1台に乗車します。 2点目のスクールバス運行経路については、60人乗りバスが、「泉中学校」と「赤羽根中学校」の間を運行。45人乗りバスが、「宇津江」、「夕陽が浜」、「村松」、「八王子」、「赤羽根中学校」を経由するルートで運行します。 3点目のスクールバスの停留所については、60人乗りバスが「泉中学校」。45人乗りバスは、「宇津江集会所」、「夕陽が浜西公園」、「村松公民館前」、「八王子公民館前」の4ヵ所が挙がりました。バス停の候補地は、市所有もしくは自治会所有であり、バスの停車場所の利用については、各自治会に無償でお願いしております。 4点目は駐輪場の整備です。各バス停における駐輪場の整備状況ですが、泉中学校については整備済みです。 宇津江集会所については、市所有地での駐輪場の設計が進んでいます。 夕陽が浜西公園については、公園内での駐輪場の整備について、公園管理局と調整中です。 村松公民館前については、地域との調整により、J A出荷場内に駐輪スペースを確保していただける予定です。 八王子公民館前については、八王子公民館に駐輪場を整備する方向で調整が進んでいます。 今回の統合準備委員会では、通学・安全部会として、スクールバスの停留所と駐輪場の整備を進めることを通学・安全部会の案として提案させていただきます。 以上です。よろしくお願いします。

委員長	ありがとうございました。 ただいま通学・安全部会長から説明がありました。この件につきまして、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。
委員	今のスクールバスの駐輪場の件ですが、夕陽が浜の西公園のこの場所は、車の駐車場に現在なっている気がするのですが、ほかにちょっとこの公園に車を止めるスペースがないので、そこら辺はどうなっているのか説明をお願いします。
委員長	事務局どうですか。 あと、夕陽が浜の自治会長さんも見えるので、実態がどうなのか、わかる範囲で結構ですのでお願いします。
事務局	先に事務局のほうから、夕陽が浜のほうの駐輪場につきましては、公園の中に駐輪場はつくれないものですから、公園の手前側、道路と公園の間のスペースがあるのですが、その空間部分に駐輪場はつくります。 停留所につきましては、その左側にあるスペースに市の土地がありまして、そちらのほうにバスは、停留するといった状況です。 一般の車の駐車というのは、自治会長さんどうなのでしょう。
委員	多分、近くの家の方が時々止めてられるということなので、それは注意していきます。止めないようにと、そういうふうには注意をします。
委員	私らもたまに、1年に1度ぐらい公園を利用させてもらうのですが、そこを駐輪場にしてしまうと、私らは路駐でいいのか。というよりも、もともと公園を利用するときの車は？
委員	元々車を停めるところではないですね。車を停めるスペースはありますが、停めるところではないわけです。
委員	あそこは、どこかに駐車場ってありますか。
委員	駐車場はないですね。東公園にも、西公園にもないです。
委員	使うときには、その反対側に知り合いの空き地があるので、そこに車を入れさせてもらってはいるのですが、そういう状況になるんですか。
委員	元々駐車スペースはないという認識でいます。皆さんトイレを利用されとかありますけど、路駐になっていますね。
委員長	担当は、まちづくり推進課だと思いますので、その辺周辺で、皆さんが使える駐車場の整備とか検討できないかなと、それとなく言っていただけませんか。
事務局	では、今日出た質問ということで、一般の方の相談という形で伝えさせていただきます。
委員長	よろしいでしょうか。 ほかにございませんか。
委員	すみません。屋根付き駐輪場の整備とあるのですが、前回の部会の際に、屋根のある駐輪場は難しいのではないかという話があったけど、そこはどうか

	ったのかと思ひまして。屋根付きにしてほしいのですが。
事務局	補足と併せて説明させていただきます。 前回の通学・安全部会のときに、こちらのほうがお示しした駐輪場の整備については、整備が困難だとか、できても屋根がない可能性があるということでした。その後、山内委員長が市役所のほうに来て、ご尽力いただきまして、全ての停留所の場所に、駐輪場ができるというところまで今進んでおります。全て屋根付きということになります。1カ所、村松につきましては、JAさんの出荷場の中ということですので、あえて駐輪場をつくるのではなくて、常に入り口が開いているという状態ということでしたので、その中に自転車を入れさせていただくスペースを設けさせてもらうということですので、よろしくお願いしたいと思います。 以上です。
委員	ありがとうございます。
委員長	よろしいですか。 ほかにございませんか。
委員	すみません。協議ということではなく、事務局に要望なんですけれども、2番目のスクールバスの運行経路という形で60人乗りバス、45人乗りバスというような形で、おおよその形が決まっているかと思ひます。この場合でいくと、3年生の部活動が終了するまでは何ら問題がないと思ひます。1日帰りに2便、学校終業時4時頃に1便が出て、部活終了時にもう1便が出るというような形になるかと思ひます。10月になり、そちらが4時45分というような下校になりますと、到底このまゐって、杓子定規のまゐいくと1時間で戻ってくことも不可能だと思ひます。そうなった場合、3年生おおよそ38名の者が、1時間学校に待機して勉強することになる。部活動指導もありますので、なかなか指導のほうもできないですけれども、1時間残っていくということが1カ月少し続くかと思ひます。もう少し経てば、30分だとか15分ぐらいの時間差にはなると思うのですが、3年生の10月という時期を考えると、やはり1分でも早く帰って家庭学習をさせたいと思うので、もしその辺がうまく柔軟に対応できるということがあれば、そちらのほうを強く熱望しておりますので、よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。 スクールバスにつきましては、これで委託業務の契約をこれからしていきます。契約をする段階での仕様書だとか、計画運行のための内容を、こちらのほうで、そういった時期に合わせるといいますか、時期によって時間帯を変更するというような対応だとか、先ほど1時間待たなければいけないという状態の時期も発生してくるということですので、そちらにつきましては、仕様の中にうたわせていただきまして対応できるように、まだ業者は決定しませんが、そういったことは可能かどうかの事前の確認をさせていただきます。対応できる

	と思っておりますので、よろしくお願いします。
委員長	今の説明でよろしいですか。
委員	はい、ありがとうございます。
委員長	ほかにございませんか。 ないようですので、お諮りします。 通学・安全部会での案に御異議ございませんか。
	(異議なし)
委員長	それではご異議ないようですので、通学・安全部会の案で進めてください。 協議事項については以上であります。 全体を通じて、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
総務部会長	補足でお願いします。 総務部会のほうですけれども、閉校式典のほうを開催するに当たり、先ほど話がありましたように、同窓生を15名ほど募りまして、実行委員会というものを立ち上げて、そちらのほうで詳細の具体案を今練っております。30代から70代までの15名の同窓生であります。地域に住んでいる方なので、非常に積極的に、3週間ごとに集まって会議をしております。 なお、今日議決いただいた内容で進めますが、詳細が決まりましたら、次回の統合準備委員会で提案をさせていただけたらと思います。 お願いします。
委員長	ありがとうございます。 ほかにございますか。 ないようですので、事務局から何か連絡事項がありましたらお願いします。
事務局	では、1点、次回の統合準備委員会の予定でございます。予定では、年明けの1月の中下旬を目途に開催をさせていただきたいと思っております。先ほど、小久保部会長からありましたとおり、今後、いろいろ細かいところが決まってまいります。各部会で検討していただいた内容を、1月にはまたお示しさせていただいて、そこで決定を順次させていただきながら、最後の3月の閉校記念式典が統合準備委員会としては、最後の場という形になろうかと思います。 また各委員の皆さん方にご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。 以上です。
委員長	もう少し時間をとってありますけど、言い忘れたとか、これは聞いておきたいとかございませんか。 はい、どうぞ。
委員	式典に対する予算が一切示されていないと思うのですが、これは予算というのは、全額市の負担ですか。
事務局	市の学校再編予算の中で、閉校記念式典予算として組ませていただいております。その中で泉中学校のほうで、式典に必要な備品等の購入等に使っていた

	だくという状況で、学校側との調整をしているところでございます。
委員長	よろしいですか。 ほかにはないようですので、以上をもちまして第9回泉中学校統合準備委員会を閉会といたします。 大変お疲れさまでした。